

# 群馬県青少年赤十字の 現状と課題について



日本赤十字社群馬県支部  
組織振興課長 榎原 康弘

## 本日させていただきますお話

- 1 青少年赤十字の「現状」について
  - (1) 青少年赤十字の目的
  - (2) 青少年赤十字の活動
  - (3) 学校教育との関係
- 2 青少年赤十字の「課題」について

## 本日させていただきますお話

- 1 青少年赤十字の「現状」について
- 2 青少年赤十字の「課題」について

### 1 (1) 青少年赤十字の目的

# 赤十字と青少年赤十字

## 赤十字の考え

- ・人の痛みや苦しみに目を向ける
- ・利己心と闘う 無関心に陥らない
- ・常に想像力を持って行動する
- ・人の「いのち」「健康」「尊厳」を守る

<p>日本赤十字社の使命</p> <p>わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。</p>
<p>わたしたちの基本原則</p> <p>わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則に従って行動します。</p> <p>人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。</p> <p>無 害：いかなる状況下でも、傷や死の恐れを人に与えません。</p> <p>中 立：すべての人の健康を助けるため、いかなる争いにも関わらずに活動します。</p> <p>無 党 派：国や他の組織の偏見や利害に陥りませんが、赤十字としての自主性を保ちます。</p> <p>無 利 害：利益を求めず、人道のための、無償の行動をします。</p> <p>単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に認められた活動をします。</p> <p>世界性：世界に広がる赤十字ネットワークを築き、互いの力を合わせて行動します。</p>
<p>わたしたちの決意</p> <p>わたしたちは、赤十字運動の創り手として、人道の尊厳のために、何事にも恐れず、勇気を持って行動し、人の痛みや苦しみに目を向け、常に想像力をもって行動します。</p>

## 青少年赤十字の目的

赤十字のやさしさや、思いやりのところ(人道的価値)を持った子どもを育成する

# 「青少年赤十字」の目標

実践目標

健康安全、奉仕、国際理解・親善

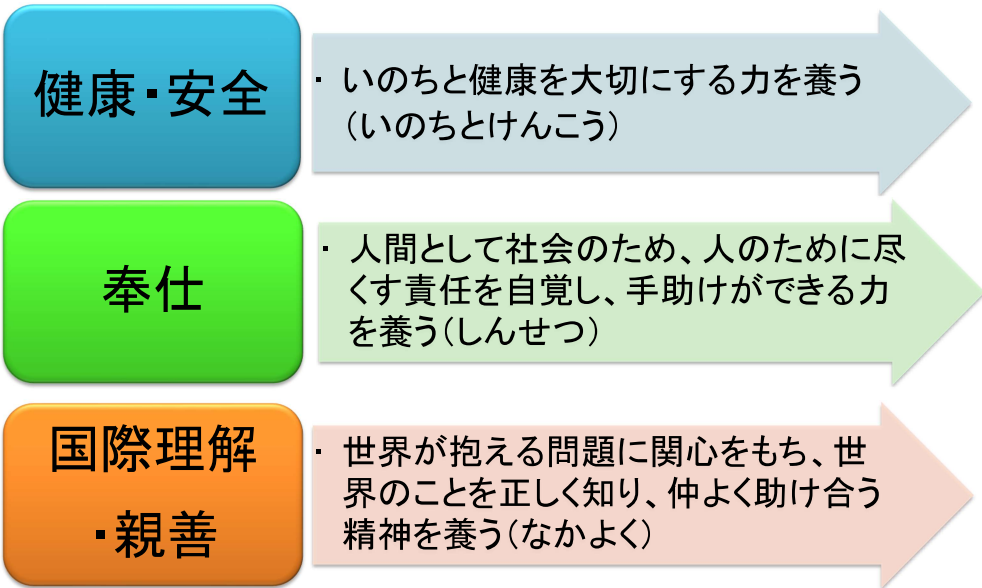
態度目標

気づき、考え、実行する

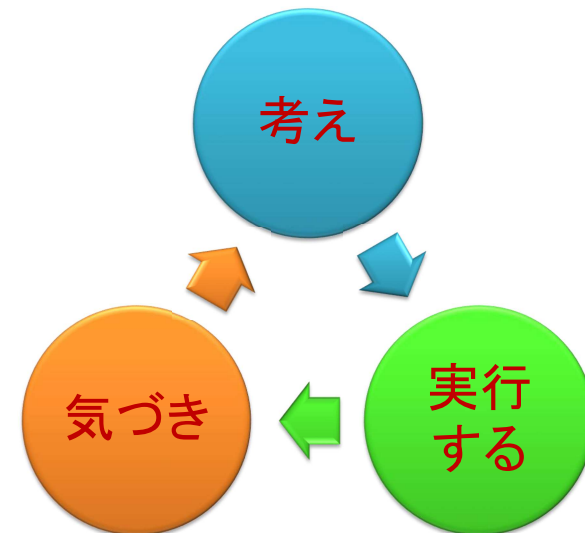
人道(やさしさ、思いやり)の輪の拡大

誰の心の中にも本来ある「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し主体的に行動できるこどもを育てる

# 「青少年赤十字」の実践目標



# 「青少年赤十字」の態度目標



児童・生徒が自主的で自律した生活態度を養うための目標

## 1(2) 青少年赤十字の活動

9

### 群馬県青少年赤十字の概況（令和5年度）

**群馬県の加盟率 95.4%**

**加盟校 547校 加盟メンバー数 13万5,739人**

※小中高の公立校は100%加盟  
 ※公立中学校は平成27年度(2015年度)に全校加盟  
 ※公立小学校・公立高等学校は平成28年度(2016年度)に全校加盟  
 ※令和6年度は樹徳高等学校様、東京農業大学第二高等学校中等部様に加盟  
 いただいております。

(参考) 全国の概況（令和4年度）

(1) 全国の加盟校数	1万4,438校
(2) 全国のメンバー数	349万4,155人
(3) 全国の加盟率	31.5%

## 1(2) 青少年赤十字の活動

- ・学校活動
- ・地区活動
- ・県活動

10

### 全国データで見る青少年赤十字

校種別加盟率	小学校	中学校	高等学校
1位	岐阜県(100%) (359校 / 359校)	岐阜県(100%) (182校 / 182校)	香川県(100%) (40校 / 40校)
2位	<b>群馬県(99.3%) (301校 / 303校)</b>	<b>群馬県(97.5%) (156校 / 160校)</b>	<b>群馬県(94.8%) (73校 / 77校)</b>
3位	福島県(98.5%) (391校 / 397校)	富山県(97.4%) (74校 / 76校)	徳島県(94.6%) (35校 / 37校)
4位	香川県(95.6%) (152校 / 159校)	福島県(96.3%) (206校 / 214校)	和歌山県(85.1%) (40校 / 47校)
5位	福井県(95.3%) (184校 / 193校)	香川県(94.6%) (70校 / 74校)	大分県(81.5%) (44校 / 54校)
全国平均	37.0%	34.5%	36.3%

## 学校での活動例



ハザードマップ作製



医療従事者へメッセージ



オンライン防災講習



防災講習



登録式



清掃活動

## 実践推進校(令和6~7年度)

### 太田市立荻川小学校

心豊かに、たくましく生きる荻っ子の育成  
~気づき、考え、実行する青少年赤十字活動の  
実践を通して~

### 長野原町立長野原中学校

思いやりの心を持ち、自ら気づき・考え・実行  
する生徒の育成  
~青少年赤十字の実践を通して~

## 学校での活動例



花いっぱい運動



地区トレーニング・センター

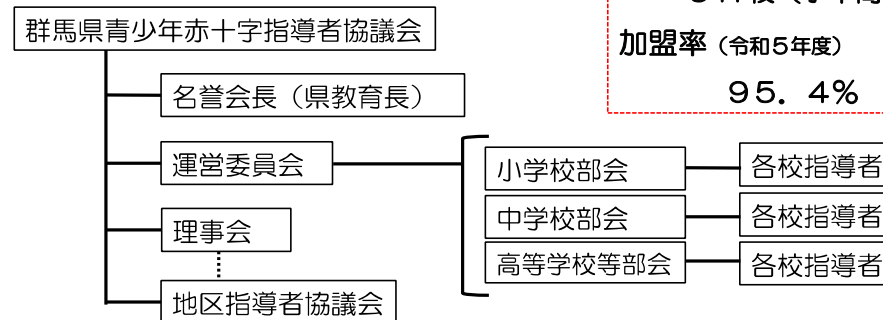


あいさつ運動



美化運動

## 群馬県の青少年赤十字組織



加盟校(令和5年度)  
547校(小中高)  
加盟率(令和5年度)  
95.4%

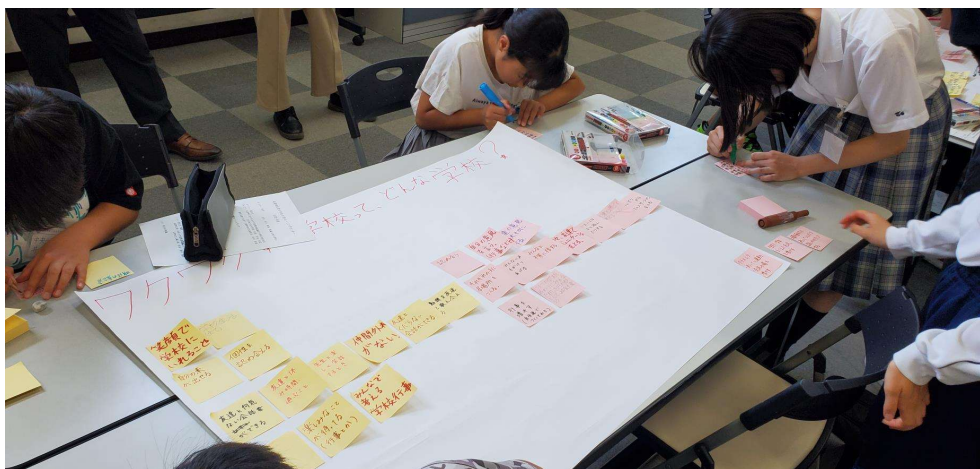
地区連絡協議会(中部、西部、吾妻、利根沼田、東部)

指導主事連絡会議(県教委、各教育事務所、12市教委)

青少年赤十字賛助奉仕団

高校生協議会(高校生メンバーの組織)

## 地区トレーニングセンターの活動例



小中高の児童・生徒と一緒に取り組む機会や、  
地域の人たちをお互いに知るきっかけにもなります

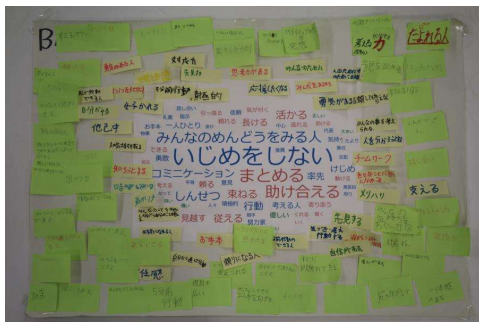
## リーダーシップ・トレーニング・センター(赤城少年自然の家 2泊3日)

指示のない生活を通して、仲間意識や自主・自立の心を育てます。

※小中高等学校ごとに実施

- ・防災教育プログラム
- ・実技学習(AED、炊き出し実習 他)
- ・ボランティアの実践
- ・フィールドワーク など

令和6年度小学生リーダーシップ・トレーニング・センター日程	8月21日(水)	8月22日(木)	8月23日(金)
6:00	起床・洗面	起床・洗面	起床・洗面
7:00	朝食	朝食	朝食
8:00	防災教育プログラム	ホームルーム	
10:00	赤城少年自然の家2泊3日と本日の活動(赤城少年自然の家)の説明	トレーニングセンター(ワークショップ)	
11:00	フィールドワークの説明	準備	
12:00	受付	昼食	昼食
12:30	開会式	フィールドワーク	解散
13:00	トトレセンのすすめ方(ボランティア説明)		
13:40	赤十字の歴史と精神(赤城少年自然の家)の歴史	フィールドワークのまとめ	
14:00	ホームルーム	ホームルーム	
16:00	健康安全プログラム	夕方のついで	
17:00	ボランティア活動(V・S)	ボランティア活動(V・S)	
18:00	夕食(チーム活動)	夕食(チーム活動)	
19:00	入浴	入浴	
20:00	ホームルーム	夜のついで	
21:00	ホームルーム(準備時間)	ホームルーム(準備時間)	
22:00	消灯	消灯	



## 県リーダーシップ・トレーニング・センター



リーダーシップ・トレーニング・センターの日程(例)	
1日目	11:00 12:00 12:30 13:00 14:00 16:00 18:00 19:00 20:00 21:00 21:30 22:00
2日目	6:00 6:30 7:00 8:00 8:30 10:00 11:00 12:00 14:00 16:00 16:30 17:30 18:30 19:00 21:00 21:30 22:00
3日目	6:00 6:30 7:00 8:00 8:30 10:00 11:00 11:30 12:00 13:00

### 開催日程

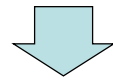
小学校	8月21日(水) ~ 23日(金)
中学校	8月6日(火) ~ 8日(木)
高校	7月26日(金) (日赤群馬県支部で1日研修) 7月29日(月) ~ 31日(水)

※各校種とも宿泊は2泊3日(赤城少年自然の家)

## 青少年赤十字の指導上の考え方

- 先見(先を見通して行動できる態度)
- ボランティア・サービス(奉仕活動)による問題解決
- 指示のない生活(掲示板の活用)
- 積極的な待ちの姿勢
- 「人道の4つの敵」の克服

(利己心、無関心、認識不足、想像力の欠如)



主体的に行動する子どもの育成

# 防災教育プログラム 「まもるいのち ひろめるぼうさい」

## 防災教育の達成目標

### まもるいのち

自分のいのちを守る力を身につけること。

### ひろめるぼうさい

学校、地域、家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りのいのちを救うこと。いのちの大切さ、思いやる心を育てること。



## 1(2) 青少年赤十字の活動 教材:「まもるいのち、ひろめるぼうさい」

21

## 防災教育プログラム(教材)



テキスト  
(指導案)



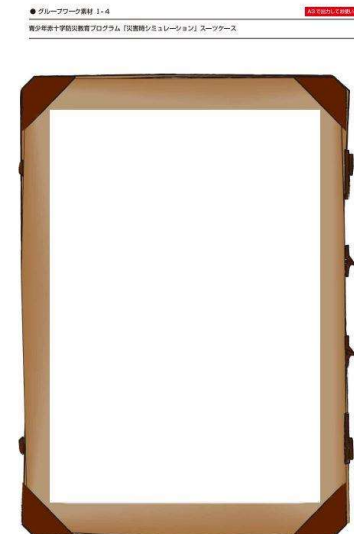
DVD  
(映像)



CD-R  
(教材)

- \* テキスト、DVD、CD-Rには、小学生用(1~3年)、小学生用(4~6年)、中学生用・高校生用の3バージョンを収録
- \* DVD(映像)は、日本語字幕、副音声対応(チャプターで選択し災害別に学べる)

## 災害シミュレーション



災害が起きて、すぐに避難が必要。あなたは何をスーツケースに入れますか？  
ポイント: 正解はありません。選んだ理由、選ばなかった理由を発表してもらおう。個人ワーク、グループワークどちらでも可能。





**子どもがやっても、大人(先生)がやっても、  
仲間作り、チームワーク作りは、笑顔になります**

### 学校や幼稚園・保育所に組織されています

青少年赤十字は、幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校等の中に組織されており、学校・幼稚園の先生や保育所の保育士が指導者となります。

学校や園は、それぞれの教育・保育方針に基づいて自主的に青少年赤十字を採用し、実態に即して計画、実践することになっています。

**↑学校教育の中に、青少年赤十字の  
立ち位置があります**

### 何を実践するかは学校や園の自由裁量です

日本赤十字社は、青少年赤十字の活動のための資料提供、赤十字の全国的・国際的組織を活用した便宜供与や学校間連携の支援、希望する加盟校の教員、生徒向けの研修などを実施していますが、指示や通達によって学校内の組織を拘束することは一切ありません。

日本赤十字社が提供する資料をどのように活用するかは、あくまでも学校や園が自主的に判断します。

**↑青少年赤十字の「考え方」や「教材」  
を学校の中で自由に使ってください**

### 青少年赤十字は世界的な組織です

世界191の国と地域に同じ理想を掲げ、実践している姉妹赤十字社の組織がありますので、国内の学校やメンバー間はもちろん、姉妹社の青少年赤十字メンバー同士の人、情報、物(国際親善アルバムなど)の交流も盛んに行われています。なお、青少年赤十字は「JRC」と呼ばれることもありますが、JRCはJunior Red Crossの略です。外国では「Red Cross Youth(RCY)」と呼ばれることもあります。

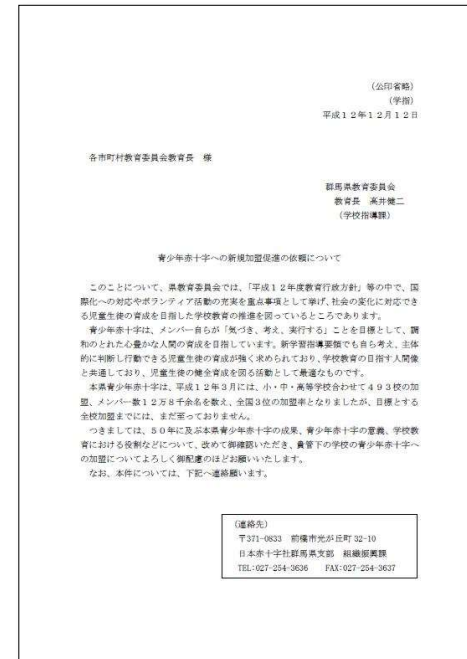
**日本赤十字社(本社)ホームページから**

## 1(3)学校教育との関係

昭和57年度  
教育行政方針  
「国際理解教育の推進と  
JRC活動の振興」

県教育長名通知  
「JRC加盟の推奨に  
ついて」

⇒市町村教育委員会  
各学校長





最上位目標 自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて  
—ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

社会をつくるのも変えていくのも  
「誰か」じゃなくて「自分」だよ。

自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

人は、誰しも、生まれついて自分と社会を  
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。

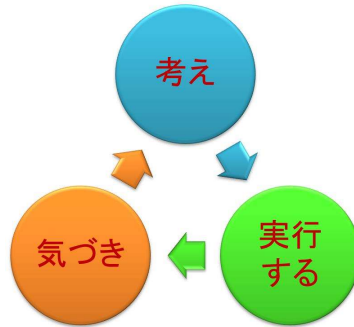
- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えずぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要なのは、どんなものなのか？

2024年3月 群馬県教育委員会

キーワードとなる  
ものが、赤十字や  
青少年赤十字の  
考え方と合致する  
ものではないかと  
考えております



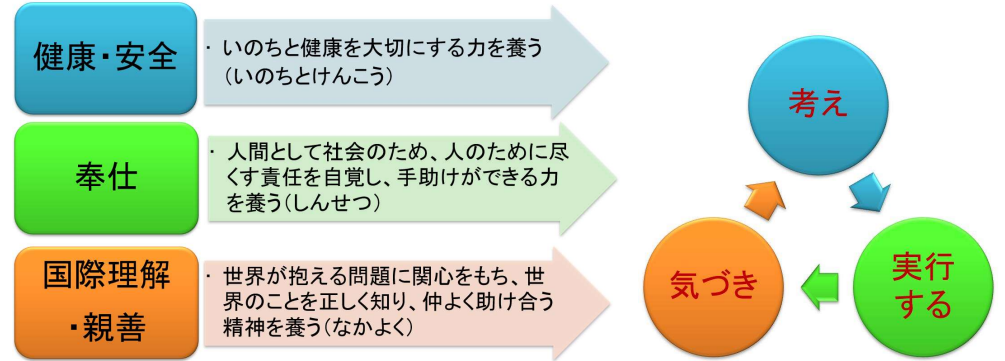
学習指導要領との関わり

日本赤十字社(本社)ホームページから

新学習指導要領では「学びに向かう力・人間性等の涵養(かんよう)」「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」の三つの柱を掲げており、主体的・対話的で深い学びを実現しながら「社会に関かれた教育課程」を目指しています。

約100年にわたり先生方と培ってきました青少年赤十字の実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」と態度目標「気づき」「考え」「実行する」や、指導理念は、この新学習指導要領と結びつくものがあります。

…という点を見出していただけたら、ありがたく存じます



## 新学習指導要領と青少年赤十字の目標が合致

新学習指導要領では育成すべき能力として「思考力」、「判断力」、「表現力」が示されています。これらは青少年赤十字の目標と合致しています。

赤十字の目的である人道の実現、青少年赤十字においては人道的な心を持つ子どもを育成することは「自分の力を社会のために役立てる子」の育成であり、青少年赤十字は特別なことではなく、日頃の学校生活を青少年赤十字のフィルターを通して評価することが青少年赤十字の活動です。

⇒ 青少年赤十字活動は『特別』なものではありません

- 体験学習の充実 (炊き出し体験、救急法講習)
- 道徳教育の充実 (5分前行動、清掃活動、募金活動)
- 防災・安全教育の充実 (防災教育プログラム)
- 生徒指導の充実 (リーダーシップ・トレーニング・センター)
- いじめ対策 (人道法の学習、JRCの目的の意識づけ)
- キャリア教育の充実 (リーダーシップ・トレーニング・センター)
- 地域に関かれた学校 (ボランティア活動、施設訪問)

## 2 青少年赤十字の課題



## 青少年赤十字の課題について

### 1 指導者の育成

⇒ 現状、トレーニングセンターや指導者講習会運営に向けた青少年赤十字の指導者が不足しています。今後、青少年赤十字の考えを学校教育の中で広めていただくことの意義を継続して発信することにより、各教育委員会や校長先生方の更なる理解促進を図り、参加しやすい環境作りに努めます。

### 2 活動の活性化

⇒ 新型コロナウイルスの影響によって規模を縮小、または中止していた活動を関係者の理解を踏まえたうえで再開していくとともに、各地区または学校単位での活動について、活性化に繋がるよう、積極的に情報提供を推進します。

## 多様化が進む社会における人道の輪の拡大

— 多様な価値観が共生し、「互いを尊重し、助け合う」社会へ —



### 豊かな心をもった青少年の育成強化

- これからの教育現場のニーズに即した「青少年赤十字」活動の再編
- 「不登校」や「いじめ」等の学校が抱える問題解決の一助となる人道教育の展開
- 地域社会とのつながりを体感できる新たな「青少年赤十字」活動の導入

## まとめ

青少年赤十字活動は、決して特別なものではありません。

そして、新しいことを求めるものではございません。

すでに学校で実施していることと、青少年赤十字の考え方が「合致している！」と見出していただくことも、『ご活用』いただくひとつかと考えます。

「教材」「行事」、そして「考え方」を学校教育の中で、是非、ご自由にご活用ください。

